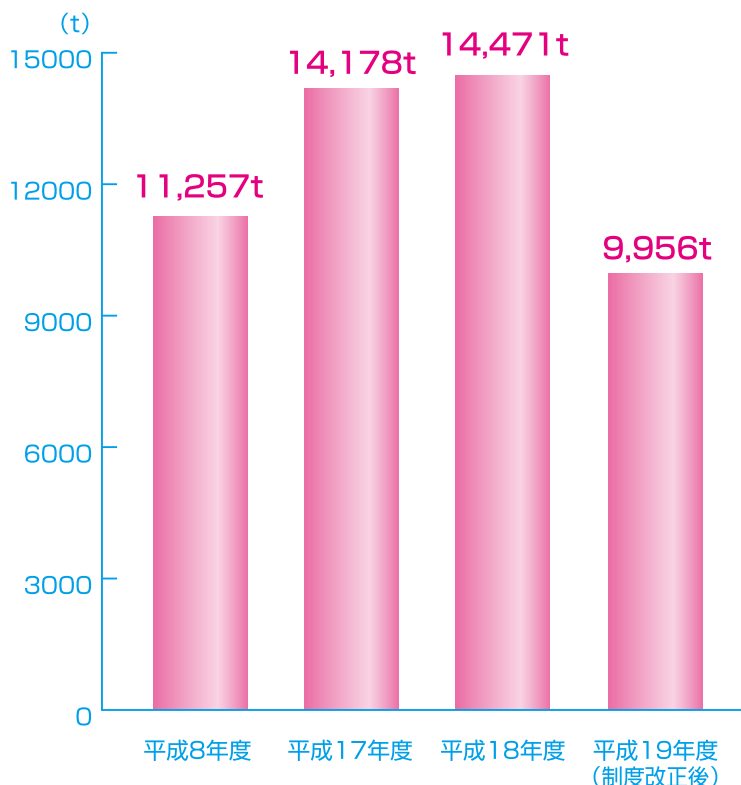


さらなるごみの減量にご協力を

「ごみ減量20%大作戦」を展開し、1年半あまりが経過しました。ごみの減量意識の高まりによって、実際のごみ量やごみ焼却にかかる経費はどのように変化したのでしょうか。

■みどり園で扱う生活系可燃ごみ量の推移 (単位: トン)



■みどり園の稼働状況

みどり園の焼却炉は2炉。メンテナンスの関係で、一定間隔をおきながら、1炉交互の運転を基本としています。ところが、ごみの量が増え、近年はやむなく2炉運転する日が増えていました。

このごみ増加傾向を脱却するべく、ごみの減量に本格的に取り組みはじめたのですが、昨年度は、ごみ減量の効果で2炉同時運転日数が大きく減少しました。また焼却炉の運転経費も、光熱水費など年間1000万円を超える経費節減となりました。

処理能力	66 t / 24 h × 2炉
平成8年度	2炉同時運転日⇒0日
平成17年度	2炉同時運転日⇒90日
平成19年度	2炉同時運転日⇒7日 (制度改正後)

■1人1日あたり排出量

平成8年度	366グラム
平成17年度	469グラム
平成19年度	334グラム (制度改正後)

生活系可燃ごみ量を人口と365日で割りました。

みなさんのご理解とご協力により、ごみ減量20%大作戦は大きな成果を生みました。とはいってもの今年度にはいりごみ量は少し増えつつあります。ごみ減量の効果を一時的なものにせず、私たちのくらしの中にごみ減量生活を定着させましょう。

播州織リサイクル教室

作品展示会開催

11月29日 (土)

9:00~11:30まで

フリーマーケットと同時開催

リサイクルプラザ2Fホールにて

見直そう!

播州織ハギレの良さを!

みどり園で開講しています、パッチワーク教室 (講師:小東先生) の生徒の皆さんが、播州織のハギレを利用し、作りあげた作品を展示。リサイクルで甦ったハギレが風合いある作品に仕上がっています。

